

No.5	<h1>CTF通信</h1>	集う・遊ぶ 学ぶ・働く
2003年8月		発行:CTF松阪

障害者に対するIT・コミュニケーション機能確保への支援 について

CTF松阪担当マネージャー 岩崎 理

三重県松阪地方県民局保健福祉部様が計画された、ユニバーサルデザインリーディング事業「障害者に対するIT・コミュニケーション機能確保への支援」について、CTF松阪も参加して協働でこの事業を進めております（CTF通信第3号2ページに掲載）。

そこでこの事業を完遂させるため、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

さてこの事業の一環として、過日「障害者のIT・コミュニケーション研究会（第2回）」が開催されました。その概要については2ページに掲載されておりますが、「IT機器導入マニュアル」の作成にあたりましては、その元となるネタが必要です、しかもそれは、“広く、深く”さらにまた何よりも“新鮮”でなければなりません。

そこで皆様にはお願いですが、皆様お持ちの豊富な人脈、地の利、ご経験を活かして、関連情報の収集と提供をお願いいたします。

情報の具体例は、

障害のある方がITでしたいと望んでおられる

8月いっぱいを収集期間としていますので、情報、提案等がありましたら下記宛ご送付をお願いします。

e-mailの場合：kakuei@mint.or.jp あて

郵便の場合：〒515-0081 松阪市本町 2181-1 CTF松阪 川口保美 あて

どうか皆様のご協力を、切にお願いいたします。

✓ことについて

QOL（生活の質）を向上するためのITの使い方について

障害のある方にやさしい機器（ハードやソフト）について

支援制度及びその適用について・・・（こんな制度があるよ、だけではなくて、どういうときにどんな制度が適用できるか、とかのノウハウも期待しています）

上記の内容で、これはと思われる事がございましたら、箇条書きとかヒントのようなものでも結構です、ご提案をお願いいたします。

暑中お見舞い 申し上げます

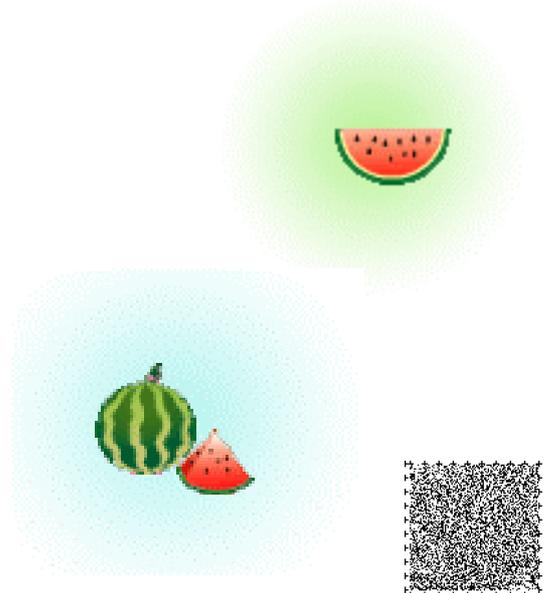
日頃の皆様の御協力に感謝して、一杯！

2003年 盛夏

CTF会員のみなさまへ

CTF役員より





障害者に対するIT・コミュニケーション機能確保への支援
IT・コミュニケーション研究会（第2回）開催

7月22日（火）13時30分から、三重県松阪庁舎第31会議室において、第2回IT・コミュニケーション研究会が開催され、16名（うちCTF会員8名）の方が出席して下さいました。

ここでは、ITに対する障害者の方のニーズや、IT機器導入マニュアルの作成、講演会およびIT機器デモンストレーションの企画などについて話し合いました。

その概要については次のとおりです。

1. ITに対する障害者の方のニーズについては、6月16日に開催の第1回研究会にて実施したアンケートの回答から、次のことが求められていることがわかりました。

購入前のアドバイス（障害の種類と程度に応じたハードウェア、ソフトウェア情報）

購入後のサポート（操作説明・操作指導）

障害者福祉制度についての情報

サポートする側の技能向上（はば広い分野の知識、情報取得）

2. IT機器導入マニュアルの作成については、次の流れを骨子として、情報収集ととりまとめをすることとしました。

何がしたいか

例：人を呼びたい、文章を作りたい、メールをしたい、インターネットで情報を得たい、etc・・・

何が不自由か

例：視覚、聴覚、視覚・聴覚、肢体、知的、精神、高次機能、etc・・・

どんな機器（ハード・ソフト）があるか

例：「伝の心」_」、「ハートチャット」_」、「レッツチャット」_」、「オペレートナビ」_」、etc・・・

3. 講演会およびIT機器デモンストレーションの企画については、10月に、意識のバリアフリー事業での「IT交流会」と同時開催とし、ITと福祉の両面でご活躍の先生に講演をいただくよう進めることとしました。



暑中（焼酎）お見舞い 作：ばねバネ様

「IT機器導入マニュアル」の作成にあたっての情報提供のお願い！

マニュアルのネタとなる情報の提供をお願いします。

情報の具体例は、上記2.の骨子に肉付けできるようなもので、文章としてまとめていただかなくても、箇条書きとかヒントのようなもので結構です。

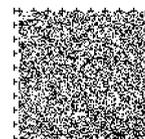
8月いっぱい収集期間としていますので、情報がありましたらその都度ご連絡をお願いします。

連絡先は次のとおりです。

e-mailの場合：kakuei@mint.or.jp

郵便の場合：〒515-0081 松阪市本町 2181-1

CTF松阪 川口保美



第5回役員会開催

7月19日(土)松阪市福社会館(松阪市殿町)において、第5回役員会議を開催しました。

会員7名(うち役員6名)が出席し、(1)CTF松阪のNPO法人化について、(2)第2回IT・コミュニケーション研究会の進め方について、(3)CD版バリアフリーマップ作成業務受託について等を検討しました。



7月に実施した事業

第5回役員会議

(7月19日)

聴覚障害者向けIT講座

第16回(7月11日)

第17回(7月25日)

障害者対象個人向けパソコン講座

(7月1日、8日、15日、22日)

ユニバーサルデザインリーディング事業

IT・コミュニケーション研究会

第2回(7月22日)

会員研修(HP作成講座)

(7月25日)

バリアフリーマップ作成(受託事業)打合せ

(7月18日)

8月の予定

第6回役員会議

9日 13:30~16:30

松阪市障害者福祉センターにて
障害者対象個人向けパソコン講座

5日、12日、19日、26日

各9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて
ワーカー研修(ホームページ作成)

5日、12日、19日、26日

各9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて
七夕まつり70(協賛事業)

2日 16:00~21:00

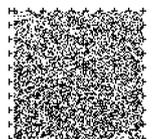
ワーカー研修開催 参加者募集!

インターネットのホームページを作るといいう仕事があり、今後も増えることが予想されますので、ワーカー会員の方を対象に「ホームページ作成技術研修」を開催します。

日時は、8月5日、12日、19日、26日のそれぞれ9時30分から11時30分まで、場所は、松阪市障害者福祉センター2階社会適応訓練室です。せいぜいご参加ください。



暑中お見舞い 作:UP様



今月は、先月号の筆者梶川正一様とともに、花岡公民館のパソコンクラブで活躍されている、高橋祐二様から投稿していただきました。

正しく生きるとは！



「不自由を常と思えば不足なし 心に望みが起らば困窮したるときを思い出すべし」
戦国武将の一人「徳川家康」はこんな言葉を残しているそうだ。私は、本を読むことが好きである。戦国武将の中で、特に家康が大好きである。

なぜかという、家康は幼くして父を亡くし、一族の安泰を保つために人質として転々とした生活を送りました。彼自身は、周りの人のいろんな思惑の中で翻弄されたが、強く生き延びていきます。

それは彼自身の心の中で「いつかは、きっと立ち直ってやろう」という強い信念とビジョンをずうっと持ち続けてきたのだと思うからです。一族のため、お家再興のために常に自分を磨き周りへの気配りを忘れず、ただひたすらに耐え忍んできたのだと思います。

さて、現代のわれわれはどうだろうか？

世の中、飽食の時代と言われ、バブルがはじけて不景気だと叫ばれているにもかかわらず、巷には物があふれ食べるものが豊富にあります。

普段は、閑散とした大型店ですが、ひとたび「特招セール」となるとたちまち人と車でごった返すありさまでした。どこから、こんなに人が集まり、なぜあれもこれもといろんな商品を買いたさっていくのだろうかと思議な気持ちにさせられました。

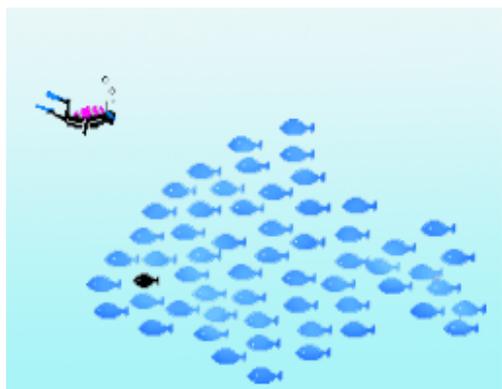
一方政治の世界では、不良債権処理のためには税金を使って立て直すことが正義の味方で、小さな企業なら倒産させて、大きな企業なら公的資金投入で甦らせます。自分の責任は他人に転嫁し、権利だけを主張して大金をせしめることが当たり前の時代です。

私は、「優勝劣敗の原則は、資本主義の鉄則」だと思っている。

公的資金投入で「平成の特政令」を当たり前のようになっている人たち、そして貧しく・ひっそり暮らしている私達には、どうすれば今の生活から抜け出せるのだろうか。「ならぬ堪忍するがまことの堪忍」と言うのは、こんなことでしょうか。

「生きて虜囚の辱めを受けず、死して罪過の汚名を残すこと勿れ」と言って、戦ってきた明治・大正に生きた人の言葉をもう一度思い出そうではないか？

次号は岡田育子様をお願いします、皆様どうぞお楽しみに



CTF通信 第5号

2003年(平成15年)8月発行

発行者 ITを活用した障害者支援組織

(Challenged To the Future)

CTF松阪

発行責任者 川口保美

住所 〒515-0081

松阪市本町2181-1

電話 0598-21-7268

URL <http://www.geocities.jp/sanguudo/ctf/>